

新刊書案内

大阪府立八尾高等学校図書館

2025 年度 No.6

書名	著者名
仮面山荘殺人事件	東野 圭吾
星を継ぐもの	ジェイムズ・P・ ホーガン
小説 すずめの戸締まり	新海 誠
乱歩と千畝:RAMPOとSEMPO	青柳 碧人
宮繕かるかや怪異譚 その肆	小野 不由美
生きる言葉	俵 万智
8番出口	川村 元気
閲覧厳禁 猟奇殺人犯の精神鑑定報告書	知念 実希人
スワイプ厳禁 変死した大学生のスマホ	知念 実希人
夜の道標	芦沢 央
僕たちの幕が上がる 決戦のオネーギン	辻村 七子
老人ホテル	原田 ひ香
図書館に火をつけたら	貴戸 湊太
アイドルだった君へ	小林 早代子
※個人の感想です	伊藤 朱里
今日もネコ様の圧が強い	うぐいす 歌子
一億円の犬	佐藤 青南
うそコンシェルジュ	津村 記久子
サロメの断頭台	夕木 春央
東大生と学ぶ語彙力	西岡 竜誠
誘拐の日 ハーパー	チョン ヘヨン

うそコンシェルジュ 〈津村 記久子〉

大学のサークルを抜きたい姪のため、うその辞める理由を考えてあげたことをきっかけに、みのりは「うそ請負人」として職場の人からも頼みにされるようになった。

人間関係のストレスを特殊な方法で発散する中山さん。家庭と職場商法に疲れ切った倉田さん。日常の困ったことをやり過ごし、目の前の「今」を生き延びるための11篇。



サロメの断頭台 〈夕木 春央〉

油絵画家の井口は、祖父と縁のあったオランダの富豪、ロデウィック氏の元を訪ねた。美術品の収集家でもあるロデウィック氏は翌日、井口のアトリエで彼の絵を見て、「そっくりな作品をアメリカで見た」と気が付いた。未発表の絵を、誰がどうして剽窃したのか？盗作犯を探すうちに、井口の周りで戯曲『サロメ』に擬えたとされる連続殺人が発生して——大正ミステリを描き抜く『方舟』著者の本格長編。



生きる言葉 〈俵 万智〉

言葉の力は、生きる力。

スマホとネットが日常の一部となり、顔の見えない人ともコミュニケーションできる現代社会は、便利な反面、やっかいでもある。言葉の力が生きる力とも言える時代に、日本語の足腰をどう鍛えるか、大切なことは何か——恋愛、子育て、ドラマ、歌会、SNS、AI など、様々なシーンでの言葉のつかい方を、歌人ならではの視点で、実体験をふまえて考察する。



八尾高生のおすすめ図書コーナー

2年 K・M さんのおすすめ

「フーガはユーガ」伊坂 幸太郎
誕生日にのみ入れ替わるという特殊能力を持つ風我と優我。
展開が面白く、伏線回収があって最後まで楽しめるのが見どころです。
「僕たちは双子で、僕たちは不運で、
だけど僕たちは、手強い」



2年 M・K さんのおすすめ

「流星の絆」東野 圭吾
両親を殺された3兄弟は、必ず犯人を探し出し、自分たちの手で復讐することを誓います。
一見サスペンスに見えますが、単なる復讐劇ではなく、家族愛や人間関係の奥深さが描かれています。

